

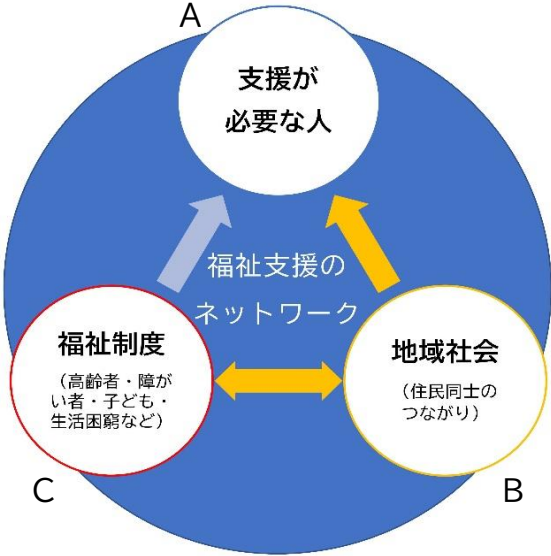
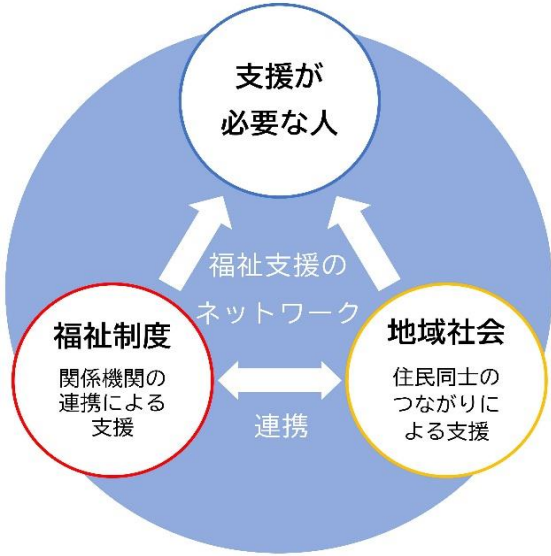
須賀川市第9次総合計画（案）に対する意見及び対応方針等

番号	該当箇所	意見の内容	対応方針等
1	P8	「交流人口」「関係人口」に関しては4章で目標値として組み入れてはどうか。	・「交流人口」、「関係人口」は数値として把握しにくく、特に「関係人口」は来訪の無い方やオンライン上での関係者なども含まれます。本計画においても、交流人口、関係人口の創出拡大に努めて参りますが、指標としての設定は難しいと考えています。
2	P11	P11の地域別人口の推移グラフは、地域名を線グラフの末端に表示してもいいのではないか。	・ご意見を基に修正いたします。
3	P12	第一次産業の人口が減少することによって、もたらされる影響についても記述して欲しい。この産業は衣・食・住に大きく関わるものであり、特に食に関しては世界的危機が叫ばれています。当市民にも無関係ではなくなる事は間違いないと思いますので、市民の共通認識が不可欠となっている。	・第一次産業は、本市の基幹産業であり、従事者の減少による影響は危惧しているところでありますが、本グラフは他グラフと同様に現状を示す部分であり、課題や対応は69～71ページの政策3-2「農林業の振興」で示しております。
4	P14	安全・安心で快適な住環境など、将来を見据えた合理的で調和のとれた土地利用とは具体的に実施計画の中で説明が必要。 コンパクトで持続可能な都市構造へ効率的に移行するため、計画的に地域内への都市機能集約や定住の促進を図る事を各部局へ徹底。	・市の最上位計画である総合計画に基づき、関連する各個別計画において対応していきます。
5	P15	(4)として「その他のリスク」も追加することも是非加えて欲しい。気候変動などは本市に止まる事なく、全世界的に発生しています。その中で特に大きなものとして森林火災があります。まだまだ気候変動の影響が大きく出てくる可能性があり予測しにくいリスクがあるかも知れません。例えば太陽黒点による超巨大フレアの発生。それらに対応する為にも「その他のリスク」を追加しておく必要がある。	・15ページ「リスク管理」では、「自然災害」、「新型コロナウイルス感染症」を特記した上で、その他想定される多種多様なリスクを大枠として「様々なリスクへの対応」として示しております。森林火災なども想定されるリスクではありますが、具体的な取り組みを進める中で、いただいた意見を参考にさせていただきます。
6	P32	ICT（IOT、IOH、IOS含めて）の活用は良いと思います。Society5.0のイメージ図は極々一部だと思います。当市がDXを推進していくと市民にとってどの様な変化し今までとどう変わるかなど見えると良い。	・総合計画は、今後のまちづくりの基本的な指針を示すものであり、すべての市民が様々な形で情報化・デジタル化のメリットを最大限享受できるようDXを推進することとしておりますが、変化や将来イメージなどは、関連する各個別計画において具体的に示していきます。
7	P34-36	P34以降の基本目標が、まず最初に示され、その後政策施策体系へと流れるべきではないのか。配置構成を再度検討すべきではないか。	・34-36ページは、国の「デジタル田園都市国家構想基本方針」を踏まえて、デジタルの力を活用して地方創生を推進するための方向性を「重点戦略」と位置付け、4つの目標を定めたものであり、各政策施策をデジタルの観点から横断的に推進する項目であるため、現状のままの配置構成とします。
8	P34-36	P34（2）重点戦略の表現が、目立たなく基本目標とのバランスが良くないと感じる。	・ご意見を基に修正いたします。 「（2）重点戦略」は項目立てであり、「基本目標」は横断的な目標を示しているため、特出して表記していましたが、「基本目標」が重点戦略における目標であることが分かりづらいとも思われるため、「基本目標」を「戦略目標」としたうえで、その記載について修正いたします。

須賀川市第9次総合計画（案）に対する意見及び対応方針等

番号	該当箇所	意見の内容	対応方針等
9	P37	公表に加えて、まちづくりの主体である市民や地域、事業者、各種団体に対し、行政実施計画の内容・目標設定の考え方、実施後の成果と課題等を市当局から説明し、市民や地域、事業者が評価する機会を設けることで（直接対話）、より一層「まちづくりを自分事として、主体的に係る」ことが進んでいくと考えます。	・総合計画策定後、様々な機会周知、共有に努めていきます。
10	P39～	市民の幸せ度アップのための個別政策・目標値であることから、市民に根拠や考え方を示すべきと考えます。事業評価結果、成果と課題が市民に理解され、次年度以降に反映すること（されること）が大切だと考えます。	・総合計画において、今後のまちづくりの基本的な指針を示すとともに、実施計画において、具体的な事務事業の計画を示すこととしており、その成果については、「市まちづくり報告書」や「主要な施策の成果についての報告書」において公表する予定であり、その共有に努めていきます。
11	P39～	今回デジタル、DXの推進を示しているのに、「政策別基本方針」エリアにおける事業展開は、それが強調できる内容が見当たらず残念である。	・34-36ページにおいて、国の「デジタル田園都市国家構想基本方針」を踏まえて、デジタルの力を活用して地方創生を推進するための方向性を「重点戦略」と位置付け、4つの目標を定めていますが、各事業の展開については、国が今年度に策定する「デジタル田園都市国家構想総合戦略」の内容を勘案しながら、総合計画や市総合戦略との整合性を図りながら、一体的に推進することといたします。
12	P45	地域、家庭などの格差が教育格差に継がらない様な取り組みを加えて欲しい。	・総合計画は、今後のまちづくりの基本的な指針を示すものでありますので、具体的な取り組みを進める中で、ご意見を参考にさせていただきます。
13	P47	指標名が支援員の配置人数になっています。人数が不足している事が判ります。それを増員するのも判りますが、施策1-2-1、1-2-2のそれらと比較すると、P46のものは児童、生徒に関する指標になっていますので、P47の方もそれと同じ次元の指標にしなければならないと思います。	・特別支援教育支援員や部活動指導員については、現状、設置を進めることが求められており、その進捗を指標にしたところではありますが、今後は、設置した成果についても、具体的な取り組みを進める中で把握していきたいと考えております。

須賀川市第9次総合計画（案）に対する意見及び対応方針等

番号	該当箇所	意見の内容	対応方針等
14	P54	<p>「重層的支援体制整備事業イメージ」において、Cの所が制度となっているが、AとBが人とか社会のように人間が主体です。しっくりしない。従って、Cも市あるいは担当部署の具体的な名称にすると違和感がなくなる。</p> <p>Bの地域社会には補足として、町内会、育成会、民生委員、人権委員などを見る様にする事で判りやすくなると思う。</p> <p>福祉制度は3者を支えるプラットフォームの1つの様な機能があるので、その様にイメージ出来るもの。</p> 	<p>・ご意見を基に修正いたします。</p> 
15	P56	<p>ジェンダー、人権に関するセミナーの開催は良いと思いますが、現状値の基準年度にどの位開催されたか判りません。目標値としては実数を掲げて欲しい。</p>	<p>・ご意見を基に修正いたします。</p> <p>いずれの指標も、新型コロナウイルス感染症の影響等を考慮し、伸び率として表記しておりましたが、その規模感等が分かりづらいとも思われるため、参加者数として表記することとします。</p> <p>①ジェンダー平等、女性活躍推進などのセミナー参加者数 現状値（2018）：174人 目標値（2027）：270人</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前の2018（H30）年度の値を現状値としています。</p> <p>②市や人権擁護委員が行う人権セミナー、人権教室などの参加者数 現状値（2021）：1,182人 目標値（2027）：1,400人</p>
16	P58	<p>目標値が80.0%（2027）となっているが、100%にして欲しい。避難行動要支援者がどの位の規格なのか判りませんが、彼を抱える家族達にとっても災害は大変不安に思う事であり、少しでも安心させる必要がある。個別計画の策定する所まではいかないが登録までなら届くと思う。</p>	<p>・避難行動要支援者は、地域防災計画においてその該当者を示しており、その全数を把握しています。指標「避難行動要支援者個別避難計画における避難支援者登録割合」は、避難計画策定者のうち、避難先等の避難支援者についても設定している割合であり、現在は浸水想定区域、土砂災害警戒区域等に居住する該当者などを先行して進めているところです。そのため、将来的には100%を目指しておりますが、計画期間の5年間においては目標値を80.0%としたところです。</p>

須賀川市第9次総合計画（案）に対する意見及び対応方針等

番号	該当箇所	意見の内容	対応方針等
17	P68	「サテライトオフィスやシェアオフィス等の」と云う様に等を付与する。 ここでの概念はまだ歴史が浅く新たなニーズが出てくると思われるので、それにも対応可とする。	・該当部分は「サテライトオフィスやシェアオフィスの整備などを支援します。」としており、他のワーキングスペースやレンタルオフィスなど様々な形態のオフィスやその支援方法などについても網羅できるよう、このような表記としております。
18	P65	市民の中には水道水を利用したくても利用できない人もいます。特に問題と感ずるのは、水道布設区域でありながら未布設の地区等です。水道を引くためには、配水管から自宅までの工事費が数百万掛かるため断念せざるを得ないわけです。 給水普及率向上等の施策は無いのでしょうか？	・給水普及率向上の施策については、企業経営の健全化を念頭に置きながら、総合的に検討する考えであります。
19	全体	この計画を推進するためには多くの人達の理解と協力が必要です。 広報やホームページで発信するのも大切ですが、若い人や市民に対して、地域ごとに説明会や計画推進会を開催し、理解を得て協力していただきたいと思っておりますので、ぜひ実施して下さい。	・総合計画策定後、様々な機会で開催、共有に努めていきます。
20	全体	製作冊子には、時代を表す歴史に残り得る写真を多く入れてほしい。特に表紙は、十分に検討してください。	・冊子製作の際に、ご意見を参考にさせていただきます。
21	全体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策2-2-3 (P62) 「公共交通網の充実」 (JRすかがわ駅を中心に) より具体的に記載願いたい。 ・ 施策2-3-1 (P64) 「住環境の整備・保全」 交流人口を現在の3倍にする為、具体的な案を示して下さい。 ・ 施策4-1-2 (P76) 「文化芸術の推進」 上人坦廃寺跡の活用委員会で決まった具体的な提示をお願いします。 ・ 施策4-1-4 (P77) 「観光振興と交流促進」 観光交流センターの具体的策(場所等)を示して下さい。 ・ 施策4-2-1 (P79) 「地域コミュニティ活動の推進」 集落支援員の設置時期等を具体的に示して下さい。 	<p>・総合計画は、今後のまちづくりの基本的な指針を示すものであり、具体的な施策を検討する中で示していきます。</p> <p>集落支援員制度については、「市過疎地域持続的発展計画」において、長沼・岩瀬地域をモデル地域として導入を検討しているところであり、モデル地域での検討結果などを踏まえ、市域全体への展開についても検討いたします。</p>

須賀川市第9次総合計画（案）に対する意見及び対応方針等

番号	該当箇所	意見の内容	対応方針等
22	全体	<p>未来への重点取組事項</p> <p>I. 人口維持の取組み</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 産業の育成 2. コンパクトシティ：安全、快適、便利な街を低コスト及び低環境負荷で構築する。 <p>II. 財政の健全化堅持</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 官公庁の財務健全化及び強化 <ol style="list-style-type: none"> ①財務体質の強化 ②税収の最大化 ③支出の最小化 <p>III. 住む人すべての幸福度向上</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 出産、育児の積極的支援実施 2. 教育の充実：未来のスターを育成する。 大谷翔平、スティーブン・ジョブス、上杉鷹山 ... 3. 夢の応援：海外留学、創業等の支援 4. 元気な現役世代：健康増進事業、健康診断及び病気の早期発見事業 5. 高齢者が健康、安心して暮らせる環境づくり <p>IV. 将来の事を想い、速やかな対策を実施して行く。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 市役所内に未来創造課等部署の創設 2. 行政の改革 3. 人材育成：街、会社、組織等の基本は全て人であると思います。 <p>V. 危機意識を持ち、須賀川市が一丸となって、未来の街づくりに取り組む。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 市役所、企業、市民の意見を取り入れる為、協議会を開設し、継続的に街づくりの検討、実施を行う。 	<p>・総合計画は、今後のまちづくりの基本的な指針を示すものでありますが、具体的な取り組みを進める中で、ご意見を参考にさせていただきます。</p>